

事業所名

療育サポートこぼると

## 支援プログラム(児童発達支援)

作成日

2026 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		寄り添い、親身に利用者やその家族の笑顔を追求する						
支援方針		一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援を提供し、安心して過ごせる環境を整える。						
営業時間		9 時	0 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	睡眠、食事、排泄等の基本的な生活習慣を形成し、健康状態の維持・改善に必要な生活を身につけられるようになる。 検温、消毒、手洗いに努め、健康管理に留意する。						
	運動・感覚	色のマッチング、ビジーボード等、一人一人の発達に合わせた療育グッズを用いて手先の向上運動を図る。 バランスボールやバランスストーンでの運動を取り入れ、体幹を鍛える。						
	認知・行動	脳 balanser を用いた個別療育支援を行い、5感を刺激し脳トレーニングを行う。 トークンポイントシステムを実施し、ご褒美方式でやる気や、自己肯定感を高める。						
	言語 コミュニケーション	表情や身振り、各種の機器等を用いて意思のやりとりが行えるようにする。 話し言葉や文字・記号を使って相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出することが出来るようになる。						
	人間関係 社会性	感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見た手遊びやつもり遊び、ごっこ遊びを通して徐々に社会性の発達に結びつく。 大人を介在して自分のできること苦手なことなど、自分の特徴を理解するとともに気持ちや情動の調整ができるようになる。						
家族支援		自宅、保育所、学校等の送迎サービス 連絡帳やメールを通しての利用者の情報交換			移行支援		学校や事業所で培った力、進路先での課題、支援の方法等を共通理解し、卒業後より一層の成長が見込めるようにする。	
地域支援・地域連携		公共機関を利用し、乗車の仕方、切符の購入法を学ぶ。 学校・相談支援員との関わりを密にし、より良いサービスを提供する。 同会社の保育園との交流を深める。			職員の質の向上		それぞれの経験や資格を活かし、当事業所に見合った療育やサービスの提供を行う。	
主な行事等		お花見会・お楽しみ会・クリスマス会・公園・水族館・動物園・ハローウィンパーティー・母の日・父の日・バレンタインデー・ホワイトデー・電車等の交通機関を利用したお出掛け等						